

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2005-509524(P2005-509524A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-545426(P2003-545426)

【国際特許分類】

B 2 1 D 45/04 (2006.01)

【F I】

B 2 1 D 45/04 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成形工具(3)内にてガイド管(9)内で移動可能にガイドされて、突き出し方向(14)にバネ(15)により付勢されるプランジャ(6)を備えた、成形工具(3)から成形部品(4)を突き出すための装置において、上記バネ(15)が引張りバネであることを特徴とする装置。

【請求項 2】

上記引張りバネ(15)が螺旋バネであって、上記ガイド管(9)およびプランジャ(6)が、この螺旋バネ(15)の内部に配置されていることを特徴とする請求項 1 による装置。

【請求項 3】

上記バネ(15)をガイド管(9)と、プランジャ(6)に連結するために、上記バネの上方の端部がねじ込まれる上記プランジャ(6)の端部のネジストップ(17)と、上記バネの下方の端部がねじ込まれる上記ガイド管(9)の端部のネジストップ(10)が備えられていることを特徴とする請求項 2 による装置。

【請求項 4】

上記バネ(15)が、プランジャ(6)の中間位置において、平均のピッチを有しており、ネジストップ(17, 10)に対するネジのピッチが、それぞれこの中間のバネのピッチに一致していることを特徴とする請求項 3 による装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

付勢により、引張りバネは伸長される。しかしながら、双方のネジストップに対して、バネワイヤは、そのピッチに関して固定されている。これにより、ネジストップから自由領域への移行領域において、バネワイヤの不均一な付勢によるピッチまたは張架応力の負荷のもとで、捩れが生ずる。このバネ負荷の不安定性を低減し、より高いバネ寿命を達成するために、本発明のさらなる実施形態によれば、ネジストップに対するネジのピッチが

、平均バネピッチと一致して選定され、平均バネピッチとして、バネをブランジャの双方の終端位置の間の中間位置で有するようなピッチを備え得ることが企図される。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 5】

図面は、その完全に引き出された下方の終端位置におけるバネクッション - ブランジャ 6 を示しており、この終端位置でバネ 1 5 が少なくとも張架され、そのためにそれが自由であるその中間領域に沿って僅かなピッチのみを有している。上記ブランジャ 6 が工具の閉塞の際にバネ行程 F だけ上方に向かってその上方の端部位置に押圧されると、上記バネ 1 5 は、最大に張架され、その自由な領域にて最大ピッチを保持する。双方の終端位置の間の正確に半分の区間での突き出し位置において、上記バネ 1 5 は、当然のことながら、平均のピッチを有する。双方のストップに対して、上記バネ 1 5 は、ネジにより固定される。これにより、双方の終端位置の間の移行の際に、バネ 1 5 のピッチが変化しない。上記バネを痛めずに、その中間の自由な部分とその双方の端部との間のピッチの差を平均してできるだけ小さく保持するために、端部におけるピッチは、上述した中間のピッチとほぼ等しく選定される。